

小樽商科大学 Universal University 构想



小樽商科大学

1 Universal University構想

2030年までに高等教育に触れられない北海道民の数をゼロに

進学支援型PF

- 夜間主社会人入試を利用した進学機会の提供
- 地元で働きながら、大学へも進学できる仕組み
- 自治体・企業との連携による経済支援

市民大学型PF

- リカレント教育を利用した地域で働く人たちのキャリアアップ支援
- 「すきま時間」を活用した観光やヘルスケア、医療経営人材の育成プログラム

教養教育型PF

- 単位認定制度を利用した全道民への「大学経験」の提供
- オンデマンド教材を利用した広範な知識提供
- 高等教育と初等中等教育の橋渡し

自治体・企業と連携

- 地域における雇用の確保
- 大学での学びを継続するための配慮
- 学費等の経済的支援
- 各地域へのサテライト教室の設置

北海道Universal Universityコンソーシアムの設立

2 コンソーシアム上川設立



小樽商科大学

包括連携協定



北海道上川町

包括連携協定



酒大上
造雪川

Kamikawa Taisei
Sake Brewery

コンソーシアム上川設立

上川町の子供たちへの将来ビジョンの提供

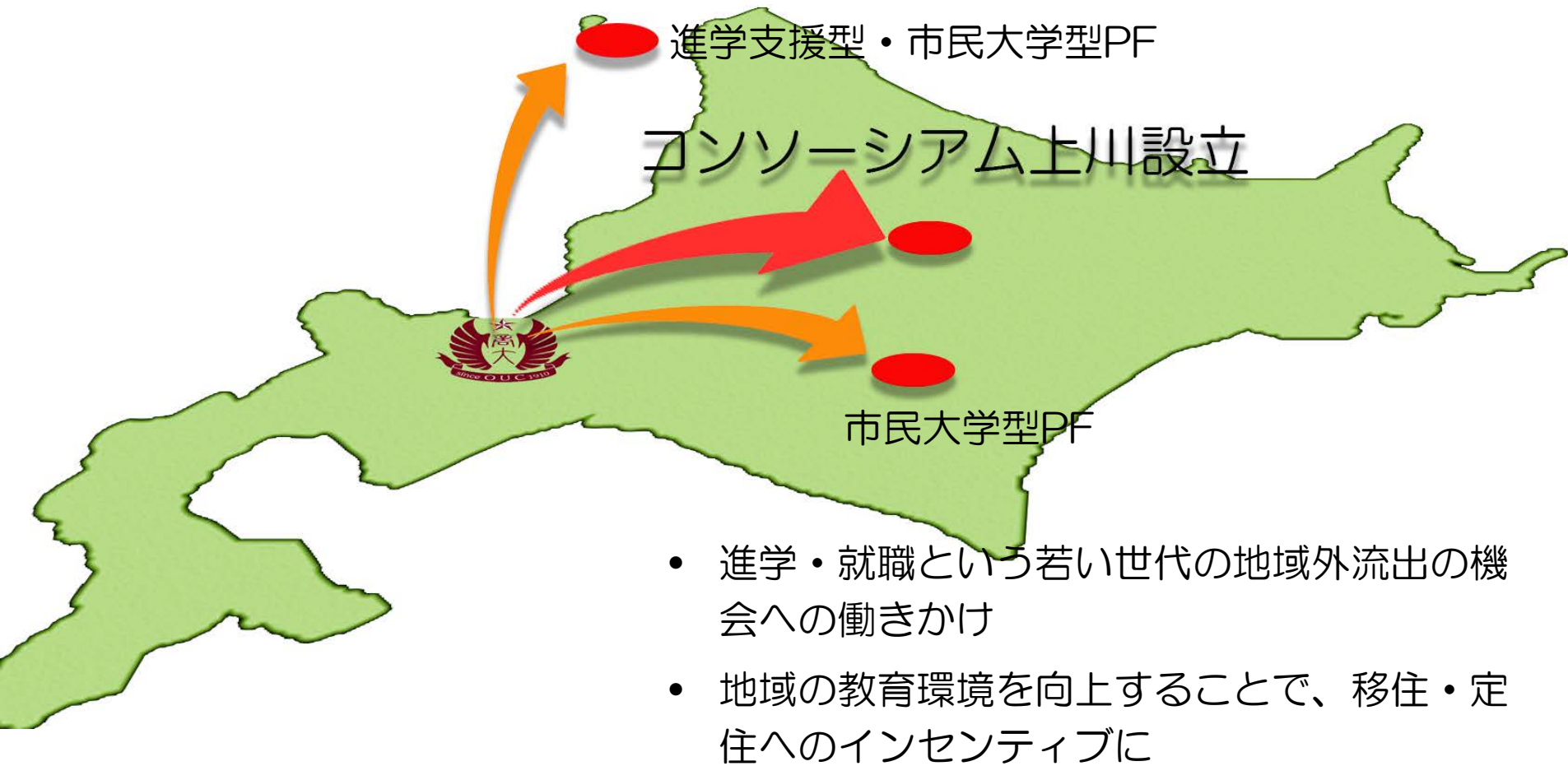
- 上川町での就職先の確保
- 上川町に居住しながら小樽商大に通う制度の整備
- 対象学生の経済的支援
- 上川町のまちづくりへの全面的な支援



小樽商科大学

3 現在の展開状況

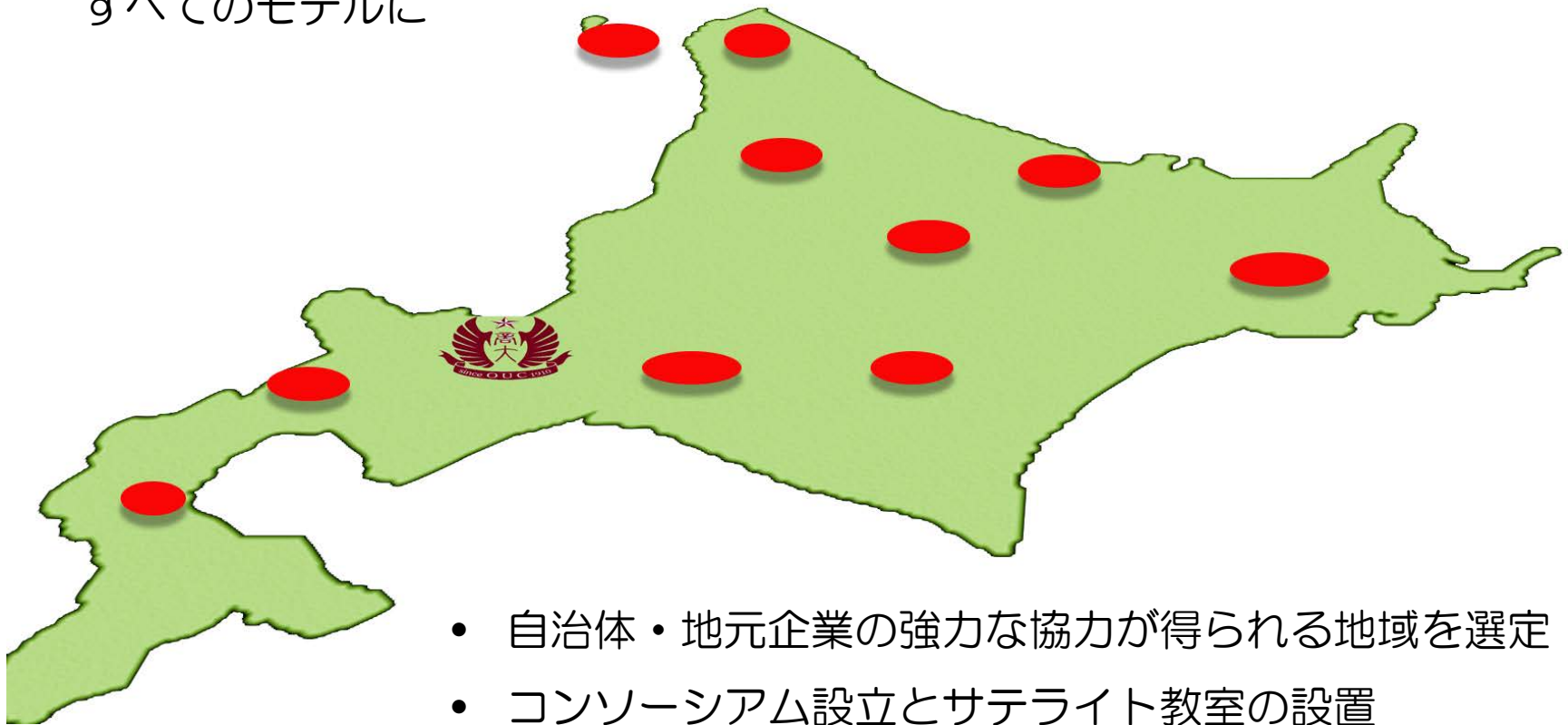
- 現在2地域での打ち合わせを開始



4 今後の展開

2025年度までに全道10カ所に同様なプラットフォームを展開

コンソーシアム上川が
すべてのモデルに



- 自治体・地元企業の強力な協力が得られる地域を選定
- コンソーシアム設立とサテライト教室の設置

5 北海道Universal University構想

2027年度北海道Universal University コンソーシアム設立

- 道内大学、自治体、企業の連携による地域課題の解決プラットフォーム
- 本学内にグローバルコモンズの設置

